

公益財団法人 ソロプチミスト日本財団
令和6年度 事業報告書
(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

＜事業内容＞

1. 顕彰事業（公益目的事業1）

（1）千 嘉代子 賞

永年にわたり継続的に当財団定款の事業に掲げる各分野に該当する活動を行い、その活動において顕著な功績が認められる日本人を表彰する本賞に、全国のソロプチミストクラブから27名が推薦された。

国際ソロプチミストアメリカの日本5リジョンによる選考、当財団の顕彰・援助事業選考委員会による選考を経て、1名の受賞者を決定し、令和6年11月6日に福岡国際会議場で開催した年次贈呈式において、賞状と副賞100万円の目録を贈呈した。受賞者名は後記の通り。

（2）社会ボランティア賞

地域社会のニーズに適合した地域密着型のボランティア活動を継続的にを行い、誠実に責任を果たしている個人または団体を顕彰する本賞に、全国のソロプチミストクラブから147件が推薦された。

国際ソロプチミストアメリカの日本5リジョンによる選考、当財団の顕彰・援助事業選考委員会による選考を経て、25件の受賞者を決定した。年次贈呈式において社会ボランティア賞の賞状と副賞20万円の目録を贈呈した。受賞者名は後記の通り。

（3）学生ボランティア賞

学生ならではの視点で当財団定款の事業に掲げる各分野に該当するボランティア活動を継続的にを行い、誠実に責任を果たしている学生、個人または団体を顕彰する本賞に、全国のソロプチミストクラブから20件が推薦された。

国際ソロプチミストアメリカの日本5リジョンによる選考、当財団の顕彰・援助事業選考委員会による選考を経て、6件の受賞者を決定した。年次贈呈式において学生ボランティア賞の賞状と副賞10万円の目録を贈呈した。受賞者名は後記の通り。

2. 奨励事業（公益目的事業1）

（1）ソロプチミスト日本財団 ドリーム賞

女性や将来を担う子どもたちが希望を持てるような社会の構築を願って、自身の活動やその成果によって、女性や子どもたちに夢や勇気を与え、明るい未来を築くことに貢献した人を称える本賞に、全国のソロプチミストクラブから27名が推薦された。

当財団の奨励・支援事業選考委員会による選考を経て受賞者1名を決定し、年次贈呈式において、賞状と副賞100万円の目録ならびに記念品を贈呈した。受賞者名は後記の通り。

3. 援助事業（公益目的事業2）

（1）ソロプチミスト日本財団 活動資金援助

資金困難な状況の中で地域社会のニーズに応えようと努力している団体へ、そのボラン

ティア活動が継続できるよう活動資金を提供する本事業に、全国のソロプチミストクラブから51団体が推薦された。

国際ソロプチミストアメリカの日本5リジョンによる選考、当財団の顕彰・援助事業選考委員会による選考を経て、活動資金を援助する27団体を決定。年次贈呈式において、援助先を推薦したソロプチミストクラブへ援助金30万円の目録を贈呈した。援助先名は後記の通り。

なお本援助金については、令和7年11月14日(金)までに、当財団所定様式の使途報告書提出を義務付けている。

(2) ソロプチミスト日本財団 災害復興援助

被災地における復興のための活動ならびに日本各地における被災者支援のための活動を実施している団体へ、そのボランティア活動が継続できるよう活動資金を提供する本事業に、全国のソロプチミストクラブから9団体が推薦された。

国際ソロプチミストアメリカの日本5リジョンによる選考、当財団の顕彰・援助事業選考委員会による選考を経て、活動資金を援助する4団体を決定。年次贈呈式において、援助先を推薦したソロプチミストクラブへ援助金30万円の目録を贈呈した。援助先名は後記の通り。

なお本援助金については、令和7年11月14日(金)までに、当財団所定様式の使途報告書提出を義務付けている。

4. 支援事業（公益目的事業2）

(1) ソロプチミスト日本財団 女性研究者賞

教育、科学技術、医療技術、環境、IT技術、介護福祉、社会福祉、伝統技術、伝統文化、文学、経済学、健康、平和などさまざまな分野で将来性のある研究をしている優秀な女性を支援し、女性研究者の躍進の機会を与えることを目的とし、研究費を支援する本事業に全国のソロプチミストクラブから16名が推薦された。

当財団の奨励・支援事業選考委員会による選考を経て受賞者1名を決定し、年次贈呈式において、認定証と支援金500万円の目録ならびに記念品を贈呈した。受賞者名は後記の通り。

なお本支援金については、支援期間満了後に当財団所定様式の会計報告書(支援期間が1年以上の場合は1年経過時に中間報告)ならびに研究報告書の提出を義務付けている。

5. 選考委員会

(1) 顕彰・援助事業選考委員会

下記の通り開催し、各賞の受賞者ならびに援助金贈呈先を決定した。

開催月日： 令和6年7月12日

委員長 重見 好子 理事

委員 高田 テル子 常務理事

庄司 路子 理事

吉田 尚子 理事

外部委員 鈴木 晶子 氏

〔京都大学名誉教授〕

堀井 茂男 氏

〔公益財団法人慈主会 慈主病院 名誉理事長〕

(2) 奨励・支援事業選考委員会

下記の通り開催し、各賞の受賞者を決定した。

開催月日： 第1回 令和6年5月27日
第2回 令和6年6月21日（外部委員出席）

委員長 石本 陽子 理事
委員 山田 賀世子 理事
篠島 恵里子 理事
藤井 信子 理事
外部委員 森 正樹 氏
〔東海大学副学長・医学部長〕
谷口 功 氏
〔独立行政法人国立高等専門学校機構 理事長〕

6. その他事業関連委員会

(1) 年次贈呈式実行委員会

当財団は公益目的事業の一環として年次贈呈式を開催する。下記の通り準備のための委員会を開催した。

開催月日： 第1回 令和6年 5月21日
第2回 令和6年 8月 3日
第3回 令和6年10月 4日

委員長 山田 賀世子 理事
委員 太田 瑞穂子 常務理事
淵 邦子 理事
小野 和枝 評議員

職責委員 千 容子 理事長
サポーティングクラブより

鈴木 幸子 元評議員（SI 福岡）
山下 和賀子 前会長 （SI 福岡）
綾部 純子 前評議員（SI 福岡-南）
吉次 令子 会長 （SI 福岡-南）

<管 理 部 門>

1. 役員会等に関する事項

下記の通り開催し、当財団の事業の執行、運営管理に努めた。

(1) 理事会

開催月日： 第1回 令和6年 2月14日
第2回 令和6年 3月 7日
第3回 令和6年 6月21日
第4回 令和6年 8月 6日【Web 会議】
第5回 令和6年 9月24日【書面決議】
第6回 令和6年12月 4日

(2) 評議員会

開催月日： 定 時 令和6年 3月 7日

2. 役員等に関する事項

令和6年12月末現在の役職者は以下の通り。

役 職	氏 名	就任年月日	現 職 等
理事長	千 容 子	H28. 3. 9	一般社団法人 茶道裏千家淡交会 理事長
常務理事	高 田 テル子	R 4. 3. 7	株式会社 高田地研 取締役
常務理事	太 田 瑞穂子	R 4. 3. 7	医療法人 おおた歯科・小児歯科 理事
理 事	石 本 陽 子	R 6. 3. 7	石本金属 株式会社 代表取締役
理 事	重 見 好 子	R 4. 3. 7	医療法人 重見循環器科内科 理事
理 事	山 田 賀世子	R 4. 3. 7	法律事務所 プリウス 相談役
理 事	篠 島 恵里子	R 6. 3. 7	医療法人社団 しのじま皮ふ科 理事
理 事	庄 司 路 子	R 6. 3. 7	株式会社 アベ設計 取締役
理 事	吉 田 尚 子	R 6. 3. 7	ヨシダ印刷 株式会社 監査役
理 事	藤 井 信 子	R 6. 3. 7	医療法人社団和絃会 整形外科藤井病院 理事
理 事	淵 邦 子	R 6. 3. 7	医療法人 潤レディースクリニック 理事
監 事	毛 利 隆 志	R 3. 3.16	公認会計士
監 事	井 上 恭 子	R 4. 3. 7	公益社団法人 才能教育研究会 ピアノ科指導者
評議員	上 野 裕 子	R 4. 3. 7	有限会社 アイキャン 代表取締役
評議員	大 貫 成 子	R 4. 3. 7	大貫繊維 株式会社 取締役
評議員	岡 野 路 子	R 4. 3. 7	株式会社 岡野組 取締役副社長
評議員	小 徳 恵 子	R 4. 3. 7	医療法人社団 小徳歯科クリニック 理事
評議員	西 中 章 子	R 4. 3. 7	株式会社 日能研九州 常務取締役
評議員	篠 村 千恵子	R 6. 3. 7	篠村医院 経営管理者
評議員	大 橋 百合子	R 6. 3. 7	宗教法人 慈眼寺 寺務
評議員	廣 田 梅 香	R 6. 3. 7	大進精工 株式会社 代表取締役社長
評議員	田 中 美 保	R 6. 3. 7	三共ポリエチレン 株式会社 顧問
評議員	小 野 和 枝	R 6. 3. 7	前別府市教育委員会 委員
評議員	前 田 弘 子	R 6. 3. 7	株式会社 藤屋時計店 取締役
評議員	大 沼 洋 子	R 6. 3. 7	立川女子高等学校 非常勤講師
評議員	山 下 和 子	R 6. 3. 7	山一商事 株式会社 取締役
評議員	喜多村 美津子	R 6. 3. 7	防府通運 株式会社 役員
評議員	井 上 真智子	R 6. 3. 7	医療法人社団 藤浪会 理事

※全員が非常勤です